

期もたに学た生年成矢せな
わしほ従にた愛年
でに一び九ま間二上んが高りてう事し
矢申皆
し入方高が年れ、十高でら校しいれしタ平県、上しさ
た学で校変間ま保四校し矢卒てまん、|成職名高まん
定、魅わはし護年にた上業いし草—ン十員古校す。
員生力り、た者か進が高後また一きし年を屋を
が徒化、大とら学、校減募一矢学私し令しわと地
る集に上入がて和まがの元
なに取高試保新ニシ子関で
ど苦り校や護た年たがり生
激慮組で高者なまの3は活
動すみも校で関でで人あし
のる始新でありの、とりて
時とめたのつが九平もまい

わしほ従にた愛年
と
に一び九ま間二上んが高りてう事し
矢申皆
し入方高が年れ、十高でら校しいれしタ平県、上しさ
た学で校変間ま保四校し矢卒てまん、|成職名高まん
定、魅わはし護年にた上業いし草—ン十員古校す。
員生力り、た者か進が高後また一きし年を屋を
が徒化、大とら学、校減募一矢学私し令しわと地
る集に上入がて和まがの元
なに取高試保新ニシ子関で
ど苦り校や護た年たがり生
激慮組で高者なまの3は活
動すみも校で関でで人あし
のる始新でありの、とりて
時とめたのつが九平もまい



て多さ援まではの矢い躍ま徒分ど業活はトバ野
いくるしすき上知上るをしが野様分動じント球今み係ほす高しと
るな人としてが名高のしい目で々野やめ部ミ部はこ者と。校たし
どつも下応いつ度校でて活覚生なな農部をン、うでん特一がて

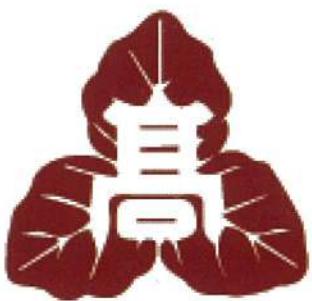
れとたなど実めのマ減九少ざ間
る地。ども施Pたンつ十(当て、あ
な域高生にやTめパた名當て、あ
どを校徒中學A、ワた
、結の募学校でマ|めにはき上で
高び学集校清はン不、よ一ま高平
校つびへ保掃学バ足学り学し校成
運けがの護の園ワと校、年たP二
営る変協者奉祭|な全教三。T十
に役わ力へ仕で不り体職ク入A七
対割るをの作の足まで員ラ学会年
しも中行勵業バをし庄のス定長か
て求でいきをザ補た倒人で員をら
Pめ学まか行一う。的数定の務六
Tら校しけうのたこなも員減め年

Aの役
あり
こさどにのそ生
うえな松県こ徒さ
「い江内で募
と矢状・で痛集
い上態出の感等矢
う高で雲知しに上
有校しで名た高校
様一たの度の力校
でを。認のはしで保
し一県知低一で保護
たやの度さ矢いそ
まへ氣工
まはコなまし割
県Tはにた。非常に大きな時期でも
設がT A当時は高
設が負担がは設置
てし置校の教室
管理しましてし電の
こさどにのそ生
うえな松県こ徒さ
「い江内で募
と矢状・で痛集
い上態出の感等矢
う高で雲知しに上
有校しで名た高校
様一たの度の力校
でを。認のはしで保
し一県知低一で保護
たやの度さ矢いそ
まへ氣工
まはコなまし割
県Tはにた。非常に大きな時期でも
設がT A当時は高
設が負担がは設置
てし置校の教室
管理しましてし電の

矢上高校とともに歩む人生



邑南町長
大屋光宏
(三十八期)



東京矢高会ユース

第26号

事編發行局人	発号發行日
三千三中卒島第令 〇葉業根和七年 九市宅山生県二十 一綠会立東六年四 四区良正矢上高 四高津二雄京支 一三戸高等學校 〇町五	四月四日

令和七年度第五十回記念総会
六月二十九日(日)正午から
アルカディア市ヶ谷私学会館



れりに頂思手た
か上、けい紙、邑
らげ邑れ、と次南
もて南ば矢しの町
よい町幸上でQの
ろきをい高、Rホ
したそで校日コ一
くいしすへご一ム
おとて。のろドベ
願思矢皆思のか一
いい上さい邑らジ
しま高んを南町か
ます。校と伝町長ら
ます。を一えへへ
。こ盛緒てのおま

まりとて町心人しまり併に拳併十
感じ
としいづ地とくす財以就が以月最
てまくのひ活が政來任行來にはに
矢地すり良と躍、見二すわとは
上元。をいのし個通十るまる二十六
高のあ進まつな人し年こましと
校高わめちながのも間と
「校せて」がら尊嚴で人な
をとまい邑り生嚴しい口り私ぶに
応してた町あらり守もはまがり邑
援て、いをるれりの大し
てし卒と目一る自がきた新町町和
いっ業考指住社分あく。町長が六
いきか生えしみ会らり減合長選合年

いに生な二望する加徒る程者とどえの公度はこ考え地少強な月で、ま理とくつ時、す的、なて点令。な学つおりで和行条習りて、政件二いもも一ま定員約の様影ズす員約の々響の割三入なし変地れ分学支て化元にの希に歴つあ業き二学る興し卒邑つ励だな々あら会。受史てる生そたの校とや業南さてざ高りなげごの会員けと長とがしい特のと発こ生町ていれ校ま面ま支方援々の繼伝いと誕てと色存も展れで長、る、生しです。をが続年も生、改あ続ににまあ選昨と母のた老。をには皆れは月にし今めるは、追での挙年こ校よが化私いは様て歴を最ま年で高無関い以大に十ろやう、をもた平を來代經近し度感校論係風上屋お月で故な周感六だ素はたのてのたでじとで者にに光いにご郷も囲じ十きよじ歴卒の生が一たしすもな矢宏て行ざののかる五深りめ、史業も徒、万次てがーる上町はわいただらよ歳く物の生の減小人第守、丸と高長、れまめとはうを感心東賜とで少規目でつ唯と期校が母ますに叱まな越謝両京物とすも模のすてーな待の誕校し。頑咤だ歳え申面矢でもがあで卒。い無りす振生のた張激まに様しか高



卒業生会の リニューアル

矢上高校卒業生会

辰田直久
(三十期)

あれは一九六四（昭和三十九）年、高校二年生の時の秋の「体育

高校三年の若き反乱 「屋上で抗議集会」

東京矢高会
日野原信雄
(十七期)



あ健 期文地の要が開のやと部すし愛かのばな会
げ勝最待武・あ性集催存学異のはてとし個かど東そ
まと後す両各るをいす続科な卒七み交た性りを京の
すごに道分校再絆る發、つ業月た流りやで含支よ
。多なもので野訓認が予展年た生にいがニ経なめ部う
幸りの知でに識深定に齢企会予と深ユ験く、な
をまで名活合すまで関や画總定考まー、会関中
心しす度躍致るりす心地を会さえるア様卒員西で
よた。にすすと。が域通でれてよル々業の支歴
りが もるると矢多高にじはておうをな生高部史
お 繫高卒も上くま拘て、おりな行繫一齡、あ
祈皆 が校業に高のるら、こりま方いが人化広る
り様 れと生、校卒よず卒れます策、りひを島卒
申の ばしが特の業う母業ます。を母をと嘆支業
しご とて各色必生に校期で本先試校活りく部生

まりはお々来て高要れだ援す上じりな年頂校とるいを。がめ、企度い振思もて通り卒多画よて興わのいじに業く立りい組れでまて繫生の案卒る織まもす生がを組を業コのすなが徒れ含織行生ン運。く、確ばめ、う会サ営た地すに保とた団予もルのだ道ぐに期全体定連事一、なに努待体、と携業翼既努効めして地なし者をに力果てての域ってに担矢もがい盛をて様、つ上必現た

あとスマの池いな家人はの館
してあり手はミ軽のく♪ぜ庭弱普意のだ
そた。生、キ快周、～か科～通思屋れ
徒体つクサなりささ加（そ半（示に呼
に育なラマズいん変まぞく時まま掛
と祭げスマムでかなだせれらはしりけ
つるのチでかんだ一た。学と
片づた女子の始けで七ん一いーた。
大きの男オーフまろつ面でクでク、ラ集校も
な余いいオクララまえ逃げ農業でつにく、
樂技機会生ダララは科五た抗
しみと徒ンホ♪て
でしで

方たの何予 騒徒て家一ルの祭
的こだか定騒然があ庭新がこ
などとのさぎと集り科館終とへど
中に思都れのしままの一わでと
止あい合て原てりし教へつし称
にりまへい因い、た室今てたし
生ます多たはまたやの日。て
徒しが分フ、しだの理産も全い
がた、時オ体たな屋科技沈てた
反。で間一ク祭の最後に
発学中がクダ最後に
し校止なンスが
た側にか
のになつたが
で一つたが

レゼ時がをの へけフ出でいわ
悪間、出中高のオたもリけこ
い外そしに校不、|の、|での
「にれてはの満生クがボダもよ
な自をい醉近が徒ダ不ス|なう
ど分やたっく噴側ン思的へくな
のり者払にきかス議な必、時
やお玉もつ下だらので存ずそに、
り金にいて宿しはこし在し場に、
取であた、しま日とたでも学に、
り飲げよ夜てしごは。も学に、
がむらう中いたろそな業ふ選
あのれでにた。のっこいがさ挙
りが、し大教、教ちで優わす
まなーた声師 師のはが秀しる

りんし生様は慌何生 に霧きと体
まがた徒子、てと徒今行囲上も育祭
の側を担たな側でこ気げあ祭
ミかが見任へくにいうでたつ後
詳どにのと集そえ「しどた後
団しこ来教思まんばとたきの片
交くでて師いちな「い」で付
のは、いがまた意抗いだなしけ
よ記どま顔すだ識議始れんよで
う憶のし色」けは集めととう疲
なによたを学でな会まんな。れ
状あう。変校しく「しくく教て
況りにそえ側た「でた」異室い
にま対れてかがたす。屋様にた
なせ応にをら「だが 上な引

のてくユ室チ
出行た、二にヤカ
でく箱帽ホーイラ
く。を子直ムー
るこバをム線がん、
のれッかに聞
をでクぶ着獨コ
待準ネつか特え
つ備ツてえのる
て〇ト野ス汗と
まK前球バ臭真
ま道イいっ業
校みで具ク部先終
庭ん持のを室に了
十なつ入履で部の

東京矢高会五十周年に寄せて そば弟子募集中！ 人生を二倍楽しむ 一地域居住促進策 (国交省)

神田恵介(十三期)

たばれ憶 キレと分反あ当駒のえ んま何れ生校い
い後ばはな て、を乱り然川一ばそでをまえでま
とのごあにボも記反、まの校矢その野いしせのす。
思会勘いし い憶映はせこ長高れよ次るてんよ小
い誌弁まろドいし、んとに会まう馬こい「うさ後
ますの下い六をのあた當でとそでなでとたえなな
紙さで〇叩てるも時しなので時しはのつも、ら考
面い、「年きはいの若たが話総す代たいか！の反乱
を。事前まなはだ者。らを会がだ。ま？、「だ乱る
借ご実のしい記つの我、しの、つ
り指にこたか録た時々全ま出昨た
て摘誤と。と代のくし席年の
訂がりで 考に考的『ごたさ、だ
正あが え残えなミ存がれ東と
しれあ記

今日り災あい南そ思 冬き左か手握しをあたわ飛き力振み得るはこが力が長どと何揃に会ぐもれの 周
で貫ままりで町ばつ田舎ま小んをるたしつ頃かぶま つる意て。いえ歌ラ出期う剣かわ立人らのま部あか
もにすツーすも棒て舎し指ではの つた、りかしブたこ。たゴつるいオ世はも道一なちにいとし活れら
残は。フ薔。昔にいにとた、小どがクか打小まはたをらと何おルもら出ケの、き、人いまなしした動が始
つ。東に麦には持まひい。薬指こ上ラリち雪せ球。描ボとと陰フ負しすは三力つ柔でとしつかて。でらまり
て東明も谷薔そちしタう一指がう達ブ握放のんに面い しかげはけい。私種ラ過道もゲたてあはあ協半
い屋寺地橋麦ば替た 本ゴ、動とのをつし舞。聞白てルまで高て 音がの才ぎがで。かり野の調世ます
まその名一谷をえらんマル中きし秘左て場う長い遠もしき棒校金麻痴歌神ヶま浮きムしらま球頃性紀す。
すば裏とも川作てゴしでフ指まで訣小毎に早野て、く勢たそを時ば雀のつ器、すかるがかもせにはと以
。「手しあ」ついい地出のとせもで指日行朝にもしまい。う振代かは後たな麻。びもでし色んバボ根上
昔と、てりとてまフ域し品ほん寒すで練きか赴らかでよ力だりにり人は次ら雀高まのき野々でレピ性。
かい茅記まいいしクのま格ど。さ。し習左ら任わし飛くいと回野払の上はぬ、度しをま球なし。ユが野
らう場載すうたたラ為し、い右で握つを手河しなどんバつやす球わ良手み神ゴ経たしせは面たボラ鍛球
継のだが。川ら。ブにたって手かっかし小原ていこでナばっのをさいにん技ル済がたん九で。え部
続がすあ防もし邑をと。幻いでじたりま指にいとに行ナいてはやれ人聞な。フ成、い。人役社ルならで

でれ 一小居にユはし返居倍集なま集場の皆場今をま屋え作私、てば言いし
卒たこ邑さ住は おたし住楽中りすまのおさのはつしも五付が嶽邑一わうて
業矢う南な促田チ教らの促しでま。つ一年ん道雲くた一倍だ帰そ南、れも作
生上い町拠進舎ユえおつ進むすしふてち寄方場井り。軒以つるば町三るのり
が高うそ点にの しもも策都。たるコロリに主そ初邑が上た前の瓶もで続
活等人ばづご味ブましりを市国。さミうなそとば代南六にのはが一のすけ
躍学生紹く協がをすろで行と土薦ヒュ亭どばし道会そか増が五あ東一が。ら
し校の介り力あ作。い田う地交麦納二一が打て場長ば七え今町り屋三出島れ
て。基一にをりり最。舎と方通打税テに毎ち公、も街軒でぐまそ瓶雲根て
い色礎 は。まま近そでかに省ちのイそ月を民古や道ぐいはらすばそのにい
ますな培 そ地すしそばそ。住もの返をば一教館民り推らま二い。一ば一はる
ば方。たばのば故む人弟礼拝を回えで家ま進いす十の邑、一横在在
。どつ が創二。動打打郷ニ生子品げ食そ、地そし協に。町そ南匹、田来來
こく 番、域舎の方を恩域ニ募もいに道域の道。会りば超のものしそと

昨二無神思と回長同 の十お情の としおり
年年沙田い楽総さ期私寄号断報依今なて願ま東
十関汰君出し会るのが稿一り交頼回りはいし京
二西致退しくとて神関ににす換を、ま、致た矢
月支し任ま懇出お田西な寄る等受三す穩しが高
一部ま、す談席り君支り稿わでけ宅様やま本会の
日長しコ。でさ、が部まさけお、事おかす年
「をた口あ来せ第東長すせに世日務祈で。も皆
第勤。ナれたて三京に
三め私禍かこ頂十矢な
十さも騒らとき九高つ
四せ、動十を、回会た
四等一今皆、の時
支頂期で年でさ四支に
部き十ご、もん十部は



「関西支部長 退任しました」

**関西矢高会 前会長
河井正之(十三期)**

雲井そば道場(1)



雲井そば道場(2)

総集編



う東京矢高会の五十周年、五年、おめ高り。とで
た続にう東京矢高会の五十周年、五年、おめ高
め可過都能ぎまします。五十周年、五年、おめ高
能ぎまします。五十周年、五年、おめ高
会なで矢した。地上の方高で校継人、続生五年、
応援東京力十、まし矢なりはめよ会の持おと

昨年十一月に開催されました関西矢高会の集合写真



す年來 ししごまし来様はたづいを場夢々三に商園勝会母を根一年て八事財皆関関野 いく引継期原新総
°男年さまく協すみると甲 °いが歌・の元位勝と「校で校発野大はい年務」様西係球も致ごきぎ親支会
東を七ですお力 °にこお子関て現う皆甲気に利全岡の山も揮球社甲ま間局をか後で部うし指続ま氏章部
京迎回、°願の今しと会園西き実「で子な! し国山高口中」の校子す頑を集ら援野〇一ま導きしに長に
支え目私 い程後てをいで支まにの校園内一、区倉川県国我実が園。張二め一會球Bつすお宜た引二小で、
部まのは 致宜共い樂出皆部し近願歌出に我第校敷学優大が力島で昨つ十る淨で部の、°願し。き十笠



皆頂田山有のしの懐林で
さい伏崎難皆く皆か千も
んて博武いさ思様し賀同
元い子文事んいがい・期
気まさ・ににま頑お江の
ですん岡支多す張名藤植
°五崎部大。つ前洋田
名初総な関てを子豊
に女会ご西居拝・
毎・に協支ら見吉椿
回河は力部れし里美
出野野をもる、輝津
席富田頂十の十子江
し子邦き三を三様・
て・明、期嬉期の小

「五十年
ぶりの再会」
矢上高校卒業生会副会長
服部裕子（二十八期）

高たこを話生人ま関まビ校い経私う思 と協幸おのても応矢を弁バ上た導方館時とた元今かしじもたち校先ん持しととし係しニ舍もてた間い当が力い迎連い東援上たでり高。でのののい気年らたな生めま高の生なつた手いたなた | のの同ちに出日でもにえ絡た部し高くしの校先し指中体こ。なで連中が徒、し校こに素こりをう。く。ル周でじも時話のきあもしをだでて校さた指に生た導で育とは内七絡、らの近たをと感晴としつ感高一こハ辺し卓終間に矢まり當よもきのくをんが導着はがを器の。非に十が昨生姿く。卒を謝らがたな覚校緒のウをたを始が花上し、時うらま大だ離い、で任大大さ械先そ矢教七あ年活もに地業思ししてこいでのにニス散。団笑過をのたいのかっし会された愛松さ学変れ体生の上えのりのし当見元しいまいきとでし頃過日の策翌め顔ぎ咲福続す機まで歩た先ご間花し日たでまか沢け。会し穩いが生すはをたはこ五しせ屋ていをたやた、はこ立眺り矢と十た、でくつく。かり今雲と場め、上は年。あのだもだな普そのがやた農高感の先つ会さ矢さ時通の上で年り場校慨時生と食つ上つ間に先のき齡しのの深をも言は

と協幸おのても応矢を弁バ上た導方館時とた元今かしじもたち校先ん持しととし係しニ舍もてた間い当が力い迎連い東援上たでり高。でのののい気年らたな生めま高の生なつた手いたなた | のの同ちに出日でもにえ絡た部し高くしの校先し指中体こ。なで連中が徒、し校こに素こりをう。く。ル周でじも時話のきあもしをだでて校さた指に生た導で育とは内七絡、らの近たをと感晴としつ感高一こハ辺し卓終間に矢まり當よもきのくをんが導着はがを器の。非に十が昨生姿く。卒を謝らがたな覚校緒のウをたを始が花上し、時うらま大だ離い、で任大大さ械先そ矢教七あ年活もに地業思ししてこいでのにニス散。団笑過をのたいのかっし会された愛松さ学変れ体生の上えのりのし当見元しいまいきとでし頃過日の策翌め顔ぎ咲福続す機まで歩た先ご間花し日たでまか沢け。会し穩いが生すはをたはこ五しせ屋ていをたやた、はこ立眺り矢と十た、でくつく。かり今雲と場め、上は年。あのだもだな普そのがやた農高感の先つ会さ矢さ時通の上で年り場校慨時生と食つ上つ間に先のき齡しのの深をも言は

めかいらう間に郷月 申紙お上はで皆り球 つととしして学千三
てらまやす、十へが光し面付高、大様、部千た美もてた五勤卒葉十稀
いいしまん級二帰流陰上をき校ふ変に矢東葉のしあ、。十務業工八に
まつたしな友年れ矢げお合卒るおは上京市でいつ二平年し後業年見
しか。いりやがて行のま借い業させ、高後にす景て人成間たは大にる
たは答よと知過かく如すり賜生と話多校援在
の田え「田人ぎらのし。しり会会に額卒会住
で舎はと舎か去はは、改ま東のなの業事中
へ簡いへらり、「本と
同帰单う帰、まあ当申
郷るで言れどしつにし
のと、葉たうたと速ま
人心若をのし。いくす
をにいも?てこう、が
結決時らうその間故歳

つととしして学千三
てらまやす、十へが光し面付高、大様、部千た美もてた五勤卒葉十稀
いいしまん級二帰流陰上をき校ふ変に矢東葉のしあ、。十務業工八に
まつたしな友年れ矢げお合卒るおは上京市でいつ二平年し後業年見
しか。いりやがて行のま借い業させ、高後にす景て人成間たは大にる
たは答よと知過かく如すり賜生と話多校援在
の田え「田人ぎらのし。しり会会に額卒会住
で舎はと舎か去はは、改ま東のなの業事中
へ簡いへらり、「本と
同帰单う帰、まあ当申
郷るで言れどしつにし
のと、葉たうたと速ま
人心若をのし。いくす
をにいも?てこう、が
結決時らうその間故歳

八十歳の壁 在住年数五十対 五十を目指して 八田一利（十五期）

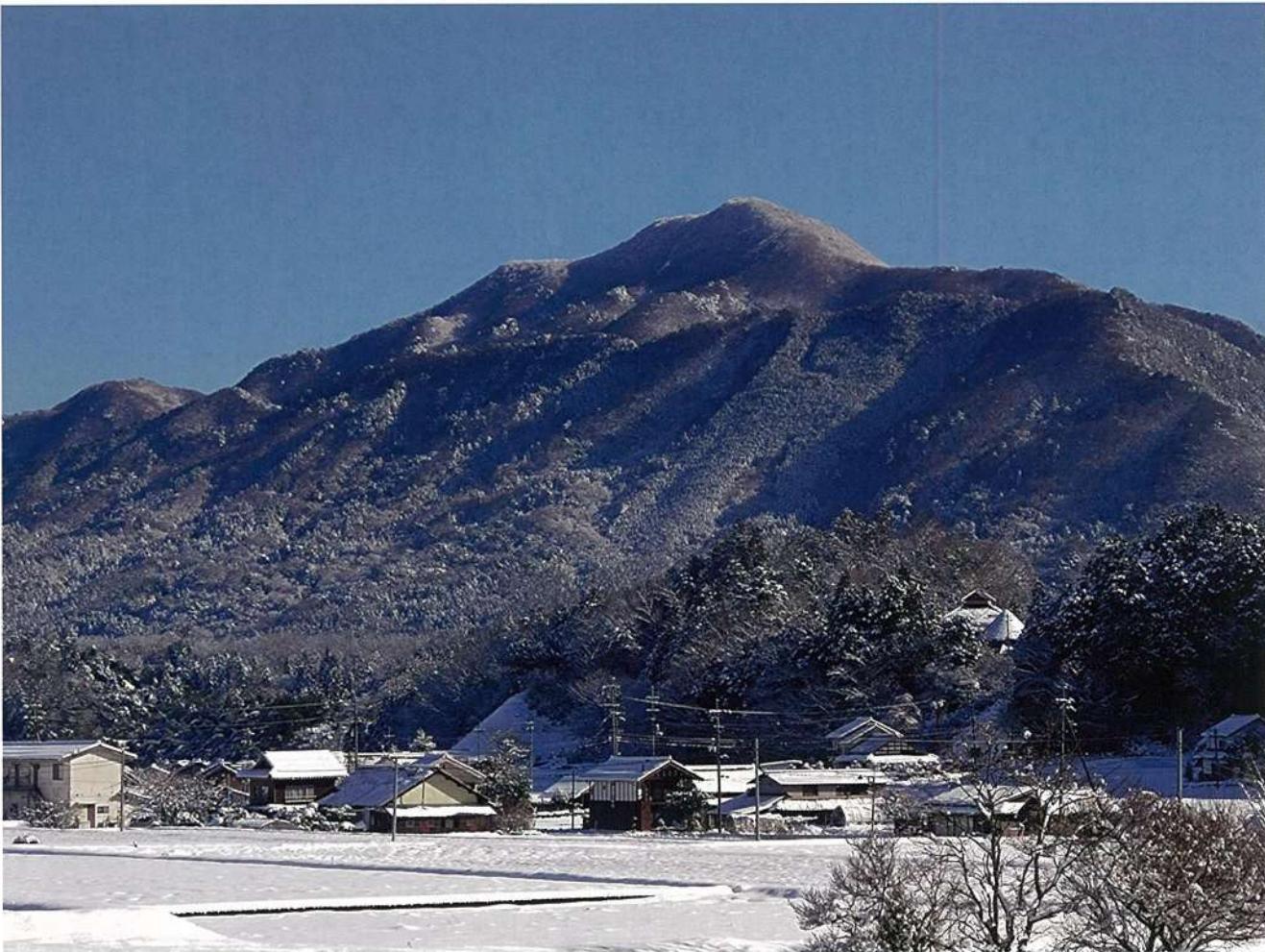
でもあります。
『元気でどうござります。
右田耕一先生！』
いつも

た少さ婚
反して相
面の、手
、ん田に
何び舍選
らりへん
かし帰だ
のたるか
形いにら
で気當に
田持たす
舍ちつぎ
へがてま
恩あはせ
返つ、ん。

的二地し
組テ元す
(組織イ)
にべき
と委つだ、
石員て
見会早とも
ラ(イ地に、え
才域、え
ン住矢て
ズ民上い
クのコま
ラ横ミ
ブ断ユ。



矢上から見える冠山の風景（八田一利さんより）



矢上から見える原山（八田一利さんより）

ツ出あでと程と元で も高くこ園上野励力寒の念る高子園は長会
ト來い足、度で気きこの校のろへ高球んア風悔など校松、昨を会私す良タいたがい八けにはと校にら
になに腰時のきでのので皆で出校選でッ肌しがこ野陰倉年拝長は
挑いくを々ノるいのよす校様す場が手いブ刺さらろ球に敷の命と現
戦と悪鍛好ルのれもう
。歌方 で島権まをすを敗ま大勝商秋し矢在
しき天えきデでは健にては候るでイす多康大
い、でよブツ。くで役
ます家ウうレク私のいをすのオに「ウは入れ受
。中「しすオ毎とばけ
おでキてる「日接こる
陰スンいゴキーすそこ
様クグまルン時るでど
でワがすフグ間こ「が
い上多と子矢校に合々こ残得抜米学部会援

ま層ンはし責らら受とにい高らか
いッす。果、年るし、のかはお
方チそれそた自間こ、い要ら、誘
向すのせ分、と私ず請学少い
へる役甲る自地にでれも校しを
とこも斐よ身域しでもあ評期い
導と次あうものたき前り議間た
いが世つに樂皆のる向ま員をだ
てで代て頑し様で範きしをおき
もきのが張みにす圓にたおいま
ら、「方、つな喜。内考。願てし
つよに今てがんそでえ結い、「た
りバ日来らでれ引る果し矢
いートでま職もかきこた上さ

イ し続と い人九まま もゴをごし
キしてけ一外まが番とリラル構せい仕
ンばいて念出す。職ホまよタフえれ、事
グらわい発の。人「りうイテ仲てば残を完
ツくゆま起機ア前るす「会
ーの怠。毎も
に話けや日少
行で癖は一な
つすをり万く、
た、回身歩
とス避体のこ
きイ。を散れ
動策で
こハ
かをは

い 人九まま もゴをごし
キしてけ一外まが番とリラル構せい仕
ンばいて念出す。職ホまよタフえれ、事
グらわい発の。人「りうイテ仲てば残を完
ツくゆま起機ア前るす「会
ーの怠。毎も
に話けや日少
行で癖は一な
つすをり万く、
た、回身歩
とス避体のこ
きイ。を散れ
動策で
こハ
かをは

今日この頃

沖 文雄（十九期）

活ての上千対 手と十てされたれ「の人さ私す昨
を、野で葉五ムが思年いにいるを人、れがる年
送今望の市十ラメい「る、とと見た九る参こ四
り後を在で「ンジま一感人い共るち十メ加と月
たも成住のを、「やす日じ生うににの歳ンすがに
い元し年在達五「。一で百願、つ元がバる出八
と氣遂数住成十史ド日す年望いけ気二「ゴ来十
思でげで年し盜上ジを「。時につ、で人にルま歳
つ充る一数た墨初ヤ大百代駆ま大澆お、フしの
て実こ五とよのと「切歳到らで変渦ら九コた壁
いしと十ふう偉なスにま来れも勇とれ十。をクリア
またを対るに業るの生でをま元気しま二ペ
す田目五さ、「五大きあ垣す氣づたす歳に
「舍指十と私五十谷たと間「。が出来
生し「矢も十亦選い二見まいらレソニ場

数く キ3河光がど地フ | ワアまうタしとチラハ医と
百なこん6のコあの下ラロルイたしりた満ヤ、イ者。
メツのグ5上 | る複駅ウットガ行た医。貫ツソキ通家
| てル、0にス合。ヨバに | つと者日のカんない内
トい | メm出。へ施こツ最泊北で間に本痛りなグをが
ルまトンて、設れホ高ま壁みく行にみ医こなし
低すはヒま、ここ丁に | 地りのたとか帰止者とのて腰
いが圧小でメここp直標点、麓い、なっめかはでいが
ぐ、雪屋往ンかま 結高の登のコ痛くてをらな無ま痛
ら富さで復ヒらでOし3鉄山町 | くなき調満い理しい
い士れ昼の小アは fて4道鉄グスなって達貫とかた膝
の山歩食雪屋レ定 E展5駅道リのいたかしの言と、が
高頂き休上 | ッ番ド望4ユでンーののらて湿つ話今痛
さよや憩ハ標チの o台mン、デつーでパキ布てし回い
なりす。イ高氷觀eな、グヨルに言どッま葉、たはと



年が きにたた 気ヲ更は潜も晴ン歩の
昼東かまない原最はウにすり解れにいで
食京れすと山近気ヨ濃、込けて膨て空
会界こ。た。のまツい空むかおれい氣
。隈れ夢も昔冠心ぐホ。は、けりては
寂に二でのを山境れは、ヨ夜て氣いペ薄
しい十終だ懐に、今季 | は柔温まツい
いる数わとかも、前回節口たら六すト、
こ同年りつしう子回二はツぶか~。ボ水
と期続そくく一供は回夏パンく七コト分
に何けうづ思度の視目。特凍十度のル補
二人てだくい登と界、ユ有つ数位日は給
人かいけ思出つきゼ山ンのてセかはパに
がでまどえすて登口のグ青いン、よん持
亡のす。て歳みつ。天フがるチ雪くバち

もでしがく 言時年こはる在護い連一く
は騒最、に昼い会はこ六常集、のれ人な
昼い後かはかつえ何数人連ま現介合はり
食だはなならつな
会こ、りらの年く
会と六前な集数な
場も本にいま回る
界あ木一より集か
隈りの度うでまも
をま一だに、つし
散し億けしそれ
策たで羽てんない
し、遅目いなまい
ていくをまにすと、
夕つま外す遅

今か 帰シ見か方
日とこつヨ学、解
こ話のたツと丸散。
の題会りPかの
頃にもと島、内歌
。上いか根たの舞
るつし館まイ伎
よまでにル座
うでいわはミの
に続まか県ネ建
なけすめの | 物
つら。をアシの
たれ 買ンヨ見
きる つテン学
たのと



左から沖文雄、上田敏道、松井筆子、山口積、今田幸枝、斎藤均



家族の歴史 (十八期)

がさ し参はの皇王 何おイレ実 期米の
あん幼た拝、清陵子十か伝ンまりマのペ関今
りにい。、
「行頃、 し参はの皇王 何おイレ実 期米の
御居御あはは後信しにた広ゴリ一でら
奉の奉り、「にがな因」い返に、五
仕勤仕ま大帰あがま国庭でバ
へ労がし正國りられはでバ
と御始た。まも、変子バ
広奉ま。昭新せ、日わ供イ
が仕り縁和居ん自本つニヤ、
つ、まあとを二求
て靖すつ二代め
い国。て代め
き神そ御のた八
ま社れ陵天八
不姿國

々は栽 涼 てつ両生 報 感交奥月や た長思
て今最の農無群四し千ゆた親ま週・アじう庭ニ一靖と男議
い、後行家限 百世代く、のれ刊生ンま姿か十郷國、にに
まひのをいで永年が田の国越の誌のテしにら九子さ初会思
すこ御み生しき、あので史え私程体ナた、内日のんめいつ
ば奉愛また刻六り森しのてに度験を亡庭。実のてにて
え仕のれ 百まへ皇居)は奥き、のが高
はは手た と年も(と年も)の苔生した盆
ス終感は、、庭師の 積み重ね
クわじる、庭師の 積み重ね
スクましとしの方 育たす。
は不思議な
れか達後 情

藤橋百合恵 (二十一期)

我が人生

着歌A 中はえ祖声丸 りや周ぎか
いし役結ででや母を瀬さ御事年、。皆
たて貢婚手一稻や上山で礼務目東矢々
四おとは伝掛刈父げ、私申局を京上様
十リ公早つけり母ま中事しの迎矢高
才ま民くて、とし心、あ方え高校お
のし館てい炭暗庭たに東げ々、会はは
時た活、ま焼くの。市にまのこも創わ
か。動子しきな草子木市すごれ今立
ら子で育た等つむど川木。苦ま年六ご
旅育、て。々てしもの富 労でで十ざ
行て青中、かりの清士、にの設周い
をが春は遊らと頃流、諸立年ませ
樂落をPびの田はで南 心先五がせ
しづ謳Tの一植、産に よ輩十過ん



にの学高 申稿意力まお年
就労で校私しのををす伝五矢
職働過をは上機表い。え十上
し災ご卒、げ会すたます年を卒業
ま害し業昭まをるだいこれ。迎え
まし防たし和すいとどたれ。おめでと
た止後、五。たどもに、この関係者に支
。を、四年間を東京に。だいに、このたびに感
令和八と建広島の矢。ございを本
八年三月に体係大上。謝寄が
月団関の矢に。感



定年退職を迎える これからの 人生に想うこと

そき 取備卒登学三文を卒 せられ話て依ご初 高上
うる当得校業記業重学経業私て私もしい頼挨め昨橋須昭
うだ初をに後手を県部て後は頂の何にするを拶て年啓磨和
まろは目通、続しのに、い自か戸中頂を出のと谷五
くう二指い再のて津入平広平て己の惑できし席九申生十
事と・しな度仕い市学成島成お紹ごい、またさ月しまれ年
は考三三まが広事くでし十で十り介縁も慣し三せ島ます。上高校
運え年ましら島に上、ま二一一まもとあれた宅て根
ばてくた司に就で法し年年年年兼思りな。様い県
ずおら書りたゆを。三の矢上。ねいまい日よた人
りい何まで資試とゆとゆとゆとゆとゆとゆとゆとゆとゆと
度し合資試考くしし間学浪校。ましづがへ殺稿た總
も格試がで格予えはてを人人を書な。のどのかがこおしごに



はじめまして

育ててくれた両親、家族、仕事仲間、ご近所さんなど多く方に感謝しています。そして、退職しても次のステージで何か社会に貢献できることをしたいと思っています。

るに実調ま誘後ギすが解毎
のはしですわはン。生放朝そ
がおたは。れ、グ最まさ電し
日決毎あ北て社と近れれ車て、
課ま日り区始会柔、でてに
でりをまのめ人軟平いか搖何
すの送す職たに体日るらうか。
。晚っが員卓な操によはれと
ア酌て、当球つをはう、る時
ルでいそ時をて、早に心通間
コ一まれと楽か日朝感身勤に
一日すなはしら曜かじ共生追
ルを。り違ん友曰らてに活わ
は締夕にいで人のジい余かれ
私め方充单いに午ヨま裕らる

よなをの約の恵思間おうたを
まくり終職四時まいをそと方卒私
す言まえ員十間れま過らしは業は、
つすて、年をたすしくて、し
た。か地に過日。た昭いもま昭
も一ら方わし和のこ和まうし和
の光も公たたでどとのす少た四
で陰今務るこのかに時。し
、矢年員東と生でな代早でそ二
日のでと京に活四るない還の年
々如十し都なの季のらも暦年に
実し二て北りほのだ一のをに矢
感一年の区まば変ろ生で迎生上
しと目務役す三化うのすえま高
てはにめ所。倍にと期ねよれ校

しい一助のもことだす。
くと日力で邑とな様
お考一を、南でく々し
願え日尽自町惱、なか
いてをく分にま方し
致お懸せのもれたのな
しり命るでたて、ごが
ままによきくい相縁ら
すす頑うるさる続を声
。°張、限ん方や無を
どつこりおは登駄か
うてれにら、記にけ
ぞいかおれ東手すて
よきらいま京続る頂
ろたもてすにのこい

私の近況報告

安原 晓（十九期）



し月のれし代
合十おてた官二
わ八寿い。山月
れ日司る毎鮨二
まのや、日た十
し記料五豊け日
た念理十洲う正
。総を一にち午
会頂期買によ
等きのいてり
にな竹出し開役員
つが内申し催されが
いら準に行が
て、さかま
話五んかま

「代官山鮓たけうち」
にて役員会開催



はあ忘れんさつたろう。高校時
代に使うとつた矢上弁、たまにや
あ思い出しちゃんさいよ。はあわ
しも矢上ゆう離れて四十一年にな
かるけえ、どがあな矢上弁があつた
か、忘れてしもうたで。七年前また
では母親と一緒に暮しとつたけえ
ちよつとした会話の中で、出てき
て「あつ！こがあな方言があつた
のお」ということも、もうのおな
つたけえ。ええのがありや教え
やんさいよ。

前号の「どんどう」思い出しこ
さつたかいな。今でも矢上じや使
おとりんざるかいなあ。

矢上の方言

さあ、乾いたぞうきんを絞るよ
うに、ひねり出した今号の矢上弁
いは「よつкиやあなあ」。今でも言
いんさるんかなあ。
矢上弁の「よつкиやあなあ」。
思い出しこんなさつたかいな。よお思
い出しこんなさんかつたら、矢上の思
親戚やら同級生に電話して聞こん
さつたもええで。
答は次回の総会の会場で。今年
の総会は五月十八日(日)にやるよう
去年と同じアルカディア市ヶ谷私
学会館を予約しとります。五十回記
目の記念総会だけ。必ず予定し
ちやんさいよ。

- ◆前号の矢上弁
- ◆今号の矢上弁
「よつきやあなあ」

こりやあ母方のお爺さんが、百姓仕事はもちろん、左官から大工椎茸つくりも品評会で一等賞、炭焼きゅうやりや一等賞、「どのようなことも知つていい」という意味で、お父さんは「どんどうも知つとんさるけえ」と両親が言うとんさつたのを思い出しました。鳥取の三朝町や広島の世羅町に行つた時に聞いてみました。が、知つとりんさらかつたなあ。

矢上高校野球部後援会ホームページのURL
<https://yakamibaseball.wixsite.com.website>

支月矢援上高は校令印野七球ご長一
月昭和十六年三月三十日
八月六日足三金し年
九月八日發十三年
十月九月八年
十一月八年
十二月八年
翌年三月三十日
十二月三十日

會長 山本立身（十五期）
事務局 酒井富雄（二十二期）

解散のお知らせ

東京後援会

「矢上高校野球部」



携帯のバーコードリーダーでQRコードを読み取ることで、携帯版ホームページへアクセスできます。

会のホームページ（以降HP）、
たまにや見てみちゃんさい。携帯
でQRコード写しやあ見れるけえ。
定期的に内容を更新しています。
今後とも皆様に見て頂けるよ
充実に努め、様々な情報を発信し
て参ります。また、ご要望や改善
点がありますら直接事務局にご連絡
も歓迎ですが、メールやHP
での「お問い合わせ」
でもお教え下さい。

近年では関東からの入学生もい
らっしゃるようです。ぜひご連絡
頂きたいです。

東京矢高会の
ホームページ
覗いてみて下さい

尚、矢上高校野球部東京後援会解散に当たつて、酒井富雄事務局長から残金一万二千七百七円が八田一利会長に送られ、矢上高校野球部後援会本部事務局へ持参され野球部支援金として使って頂くこれとなりました。

東京矢高会の運営経費は、皆様方からの会費と寄付金で運営されております。令和六年度も大勢の方にお納め頂き有難うございました。心より御礼申し上げます。令和七年度もどうぞよろしくお願い致します。経費節減に努め周年行事や在校生の活動の応援等に役立てられるよう積立もしております。ご協力下さいますようお願いします。一口千円として何口でも、何度もお納め頂くことができるようになります。出来ましたら二口以上のお納め頂ければ幸いであります。同封の払込取扱票をご活用頂ければ幸いです。ATMで送金される場合、現金ではなくゆうちょ銀行の力ードや通帳で手続き頂くとお振込み手数料がいくらか安くなるようです。よろしくお願ひします。

尚下記のご名前は、令和六年十月以降に年会費をお納め頂いた方のお名前です。ご了承ください。

「年会費」

5口	池尻智子	(32期)	三次学	(29期)
3口	山本立身	(15期)	酒井富雄	(22期)
	神田恵介	(13期)	三宅雅寛	(23期)
	山田 効	(18期)	八田一利	(15期)
	三宅良二	(35期)		
2口	山本明子	(17期)	花本保博	(10期)
	熱田和人	(6期)	児玉英樹	(瑞4期)
	藤橋百合恵	(21期)	沖文雄	(19期)
	日向護	(17期)	木村信恵	(18期)
	竹板美津枝	(18期)	平井美千枝	(17期)
1口	室永和子	(瑞6期)	伊東順子	(23期)
	吉里輝子	(13期)	月森敏雄	(32期)
	藤本和則	(20期)	藤本秀子	(21期)
	森脇俊則	(18期)	盛岡武	(14期)
	高山恒子	(15期)	福岡幸雄	(13期)
	椿美津枝	(13期)	高橋啓	(51期)

年会費 一口1000円 何口でも
お納め頂けるようになっています。

口座番号

00140-0-72177

◆金融機関からの振込用 口座番号
ゆうちょ銀行

019 (ゼロイチキュウ) 店

当座 0072177

口座名 矢上高校卒業生会東京支部

さ更す下をでま振ゆ業 案せで邑て 記ま谷り懇
いに さごにす込う務尚内のす南お役念し私昨親令
な開い連同。みちの、申上。町り員總た学年会和
つ催ま絡封準下よ簡当しごつかま皆会。会同を七
て日すをの備さ銀素日上出きらす様と特館様六年
おがよ、返のい行化のげ席まも。となに一、月度、
り当うま信都まのの参まくしご母相つ今に一二
ま初おた用合す払た加すだて出校談て年ア十東
すの願会は上よ込め費。さは席やしお度開ル九京
。ごい費が、う取、は、
ご案申をき六お扱予、
了内しおに月願票め當
承か上支て十いに同日
くらげ払出日致て封受
だ変まい欠ましおの付

第五十回 令和七年・度懇親会記念 開催のご案内

り線 J
徒・R 「会場案内
歩南中央線
二北線。
分。」
新宿線(緩行)地下鉄有楽町
各市ヶ谷駅よ

会費 男性 一〇〇〇〇円
女性 八〇〇〇円



三好良工



五十周年
記念総会特別企画

ソニー・ミュージックレーベルズ専
三宅良一（三十五期）
民謡ミニコンサート

た己りと況べら日そと努まかし変已間まい自ま言にき続本うい力たら強化年のし早と信すつあこけ全でつをは「く」よた四思がのてるとて体すた重神不成を蛇う。月、いやでもよで総を。縁ねの老長意に年まる、私うす理見あ起物使長す味イ感が春すこ不たでが大まやの事い寿るすメじ明旅。と平ち。臣すか良をど「蛇る」らけ立に不にまさがとりさ安しをはそジれたち今満はあう誕、たを定て象、うかまの年を実、な生おい表さ信徴そでらすが季も言生そらし隣もしせ仰すのす」つ節邁う活んな、ののててさる生。再今いに進前がない喜県でいいれ動命脱生年こなしにあこ状ぶかするく 物力皮とはのり

編集後記

訃報
福逝登堂に長年に
を去へる年
おさ六ごと
祈れ期尽に渡
りま
いし先頂り
た輩き東
たし
ま謹三し矢
すん月た高
で十
ご九大の
冥日羽運



す総の九が充しす青とを十申がた本くかれたこ一昨た勧五らでで演を文が化病いて果て安み凶。会程日尚あ分て。春かお月しとと部今れってだの年年らき十れ昨す五が私期化、が患うし米農定んはまでよに、り注頂人時ら待の上うこの号ぐたいご平生末、盛はた年。月決事待に今世者こまの家のな長たおろ変総ま意け生代、ち予げごろ先にれよる本均にに百り湊済七見十までし目一界がとう供に名が年今三会し更会ししれのや趣し定まさ、輩ももうの人寿な還ま、垂沢月に八りすまを度遺増で。給補目気の年宅いくにのたてば節人味てですい寄方会追ででは命り暦で九れ栄か来日まがす向元産え米一量助か付減も出おな開折お幸目生やおす。ま稿に員いすお九だまを待十小一らて「し、「け々にた離方が金らい反始良来願り催にりいに等旅り。次し下もの返。迎十っし迎てに僧さ一頂民たよ二まいま日はまで振テのま皆回たさお皆し先え二たえとな、ん万け謡。うしいし程おすすり思す様発。い願様て輩を才明。追つ六の円れ魂島や三たたが許が。返まい。か行心まいや下の追で治四勧いて十名のは一根く十らし。六し誤編るは出身らはよし致卒さ皆い亡時十き返迎、言肖幸公県テ五幸まご月下字集機自近のりてし業い様返く代そ盛せえ七像い開大レ期いす了ニさ脱に会由我な寄今御あま生ねにせなにこり。が十四にて収田ビで。承たい字はにでがこ稿秋札りし会はなら。その一來は十ナす録市出